

平成20年第2回高鍋町議会定例会 一般質問通告一覧表

(4枚のうち1枚目)

順位	質問者	質問の事項	質問の相手
1	10番 岩崎 信也	1. 町長の施政について 自らの施政についてどのように評価されるか これからの展望について	町 長
		2. 保育園について 町立と私立の違いは何か 入園基準について伺う	町 長
2	6番 大庭 隆昭	1. どうなる給食費の値上げ対策について * 食材や原油の高騰で給食費を値上げする小中学校が出始めた一方で、コスト維持の工夫等給食費を巡り、自治体が苦闘している現状についての取り組みについて 給食費を値上げた市町村が続出しているが、対応策を問う 値上げによる滞納増加が懸念されている。その対応策を問う	教育長
		2. 特別支援教育の取り組みについて * 学校教育法の一部が改正され、これまでの障害に、軽度発達障害が加わったため 対象児童・生徒が増加傾向にあると思いますが、現状と課題を問う 特別支援教育の特徴を問う 対象者(児童・生徒)の現状を問う 「共育」への転機改革とも言われるが考えを問う	教育長
		3. リフレッシュデイの実施状況について ・この制度の導入現況を問う	教育長
		4. 小中一貫教育の取り組みについて * 文科省、県教育委員会の推進する小中一貫教育は、学力向上に期待されるとして 市町村で急増している。取り組みについて所見を伺いたい 小中一貫教育についての考えを問う 日向市は「一体型」一貫教育を開設されている。どのような評価をされているか問う	教育長
		5. 過去の質問に対する答弁への対応と実現の状況について * 心身ともに調和のとれた人間の育成・人格形成など、人づくりへの一貫教育が重要 であると考え、中高一貫教育の推進について必要性を質問。その後の状況について 宮崎県立高等学校再編整備計画(基本計画)との取り組みを問う 連携型中高一貫教育の取り組みの推進状況を問う	教育長
3	13番 中村 末子	1. 町長公約と第5次行財政改革について 公約にある事業評価方式で高鍋町の財政の変化は 行財政改革で住民に求めるものは何でしょうか 行政改革について進捗状況を住民の目線で監視する体制はどう確保するのか 自助、共助、公助の考え方の最重要課題について 行政事務連絡員の廃止があるが、公民館長のなり手確保はどう考えているのか 職員を各自治公民館体制に援助者として配置予定だがどのような体制で臨むのか 第5次行政改革大綱の審議会へは住民公募がなかったようだが、その要因をどの ように考えるか 大量退職にあわせての人員削減プランがあるが住民サービスに遜色はないのか	町 長
		2. 乳幼児医療費の無料化について ・自己負担が増えて子育て中の保護者から、再度医療費無料化について考えていた だけないかと意見が寄せられているが、その声に応えていただけないか	町 長
		3. 町補助金提供団体の運営について(出資団体も) 自治公民館運営についての把握状況は 社会福祉協議会運営について 高鍋衛生公社運営について めいりんの湯運営について	町 長 教育長

( 4枚のうち2枚目)

順位	質問者	質問の要旨	質問の相手
		石井十次顕彰会の運営について 老人会団体のあり方について 消防団運営について	
4	17番 黒木 正建	1. 住宅用火災警報器の設置について * 消防法により設置が義務づけられ、本町も東児湯消防組合火災予防条例により、新築住宅は平成18年6月10日から、既存住宅は平成23年5月末日までとなった。 県(主事)、消防組合、本町との連携について伺う 2年を経過したが、新築戸数、設置済戸数を伺う	町 長
		2. 旧営林署跡地(北側)の道路拡幅について * 小川クリニックが10月開院に向けて建設中である。 拡幅の時期及び幅 西側道路は、交通量も多くて離合するにも支障をきたしているが、幅員は何メートルになっているのか	町 長
		3. 蚊口海岸の振興対策について 海岸線の管理道のでこぼ道の対策は 海の家跡地の活用は 仮設海の家の手配等について	町 長
5	3番 池田 堯	1. 尾鈴土地改良事業の進捗状況について 国営事業の受益者負担金は、いくらになるのか 県営事業の概要告示は何時になるのか 新たな土地改良区の設立はあるのか	町 長
		2. 自治公民館の区費から、各種団体への寄付について ・新聞報道にあった、最高裁判例について	町 長
6	14番 春成 勇	1. 高鍋町の水利組合について * 各地区の水利組合の現状について伺う 水路の整備について 各水利組合への、排水管・側溝蓋等使用時の負担金について 水路の清掃について	町 長
		2. 下水道工事について * 今まで行われた下水道工事の問題点や、点検などの現状について伺う これから先の下水区域の拡張について 下水道の接続工事について 下水道の完成図面のことについて 下水道の点検について	町 長
		3. ゴミ対策について ・ゴミの削減や再資源化にどのような対策をたてているのか伺う	町 長
7	11番 八代 輝幸	1. 安心して暮らせるまちづくりについて:地震に強いまちづくりについて伺う * 避難所指定校の防災機能の整備状況について伺う 校舎内の防災倉庫・備蓄倉庫設置について伺う 水を確保するための設備(プールの浄化装置、貯水槽、井戸等)について伺う 停電に備え自家発電等の用意について伺う 多機能トイレの整備(設置)計画について伺う * 自治体側と事業所間の防災協力協定の促進状況について伺う * 自宅を担保に耐震化資金を借り入れる高齢者への補助制度について伺う	町 長 教育長
		2. 指定管理者制度について伺う ・横浜市では、指定管理者に対する第三者評価制度を導入し、指定期間中に、最低1回以上の評価を行って市のHP上においても公開し、モニタリング(監督)・評価機能を果たそうとしている。本町における指定管理者のモニタリング(監督)と評価について、どのように行っているのか伺う	町 長

( 4枚のうち3枚目)

順位	質問者	質問の要旨	質問の相手
8	5番 後藤 隆夫	1. 地名の由来について ・「地名の由来」は、石川先生が長年文献や現地へ直接尋ねて調査された、正に高鍋の歴史資料そのものであり、その地名の由来を記した立て看板、標柱等を公民館や由来の場所に立て、後世に伝えて行く事が大切ではないか。書本では伝わらない面がある。	町長 教育長
		2. 再編交付金の使途について 交付期間及び交付金の年額は 今後の事業計画を伺う 防衛省に対し、交付金の使途について本町の実情に合った柔軟な対応を要望しているが、その後の結果は	町長
9	2番 山本 隆俊	1. 小丸川浄化の取り組みについて * 今、環境問題が一番の課題となっている中で、高鍋町の母なる川「小丸川」の浄化問題について考えと今後の方針に付いて伺う 小丸川の現状をどのように認識されているか 内水面漁業及び高鍋カキへの影響はないか 住民協働で浄化に取り組む考えはないか	町長
		2. まちづくり構想について ・町内を見回すと、名所、旧跡(城跡・湿原・持田古墳群・高鍋大師)や自然(川・海)がある。これらを活かしたまちづくりについて考えを伺う	町長 教育長
10	8番 矢野 友子	1. 町民との協働推進について 地域コミュニティの強化としての考え方、具体的な施策案を伺う 地区担当制の導入について、その詳細を伺う 行政事務連絡員制度の廃止について、その詳細を伺う	町長
		2. 子育て支援について ・ファミリーサポートセンター事業についての詳細を伺う	町長
11	7番 柏木 忠典	1. 第5次高鍋町行財政改革大綱について * 地区担当制の導入 各地区にどのような配置をするのか 担当者の役割分担は * 行政事務連絡員制度の廃止 廃止によって自治公民館活動の充実と自立との取り組み効果とあるが 委託料を公民館に収入するとあるが、自治公民館運営費補助金とのかみ合いは 経費節減は * 地域コミュニティの強化による町民との協働体制の確立とは・・・具体的に	町長 教育長
		2. 地域活動の推進について ・防犯、防災、交通安全、青少年健全育成など、地域活動をすすめる際、公民館ばなれ、子供会ばなれ等が目立ち、担い手や参加者が不足している現状である。 その対策は	町長 教育長
12	16番 時任 伸一	1. 地方分権と市町村合併について (質問根拠) ・中央集権体制から地方分権体制へ・・・中央政府と地方政府(新しい市) ・分権の受け皿としての地方政府(新市)創出・・・その為の市町村合併だった? ・人口10万人前後(又はそれ以上)の新市と道州の二層制 (都道府県はなくし、事務役割は新市へ) (質問) ・上の様な状況が現実味を帯びてきた中で、歴史的にも地理的にも東児湯の中心的町の町長として、町の未来、東児湯の将来を展望され、どう対処されようとしているのかお伺いします。	町長

順位	質問者	質問の要旨	質問の相手
13	1番 緒方 直樹	1. 高鍋町の活性化について 地域活性化に必要な要因として、まず人が集まることだと考える。そこで行政として集客率のアップ及び高鍋の人口増加の手だてを思案しているのか伺う 町人会の進捗状況を伺う 町民との協働のまちづくりについての状況を伺う 持続可能な財政基盤の構築についての新たな財源の創設・確保、財政システムの見直しの状況を伺う	町長
		2. 高鍋町にある問題について 市町村合併について、前回質問したあとから今日現在に至るまでに合併について協議もしくは、内々に活動をされているのか伺う 南九州大学について、行政と大学側との今後の連携について伺う。	町長
14	12番 徳久 信義	1. 個人情報保護について ・「過剰反応」を防ぐ対策 ・避難要援護者情報の共有化は ・避難支援計画、プラン策定は	町長
		2. 防災について ・古い町営住宅団地の地震対策は ・安全ゾーンの確保の周知徹底は ・避難行動マニュアルの策定は ・飲料水袋の取扱いについて	町長 教育長
		3. 環境保護について ・ノーマイカーデーの実施は ・マイバッグの普及は、有料化は ・使用済みの携帯電話の取扱いは	町長